2003.3.20　D06622R

TOTO

ネオレストEX1・2 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意　安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

⚠ **警告**　誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意**　誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

⃠ このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

❗ このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警　告

水場使用禁止 浴室など湿気の多い場所には設置しない（火災や感電の原因になります。）	禁止 交流100V以外では使用しない（火災や感電の原因になります。）	アース接続 アース（D種接地工事100Ω以下）を確実に取り付ける（アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。）
禁止 水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない（皮膚の炎症などを起こす原因になります。）	禁止 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない（火災や感電の原因になります。）	必ず守る 電源プラグは根元まで確実に差し込む（プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。）

⚠ 注　意

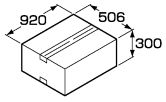
必ず守る 施工は施工説明書に従って確実に行う（正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。）	禁止 便器洗浄ホース部、給水エルボに無理な力を加えない（水漏れの原因になります。）	禁止 連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない（水漏れの原因になります。）
禁止 止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない（水が噴き出します。）	必ず守る 給水フィルターを取り付けるときは確実に締める（確実に締めないと水漏れの原因になります。）	

取り付け前のご注意

1. **製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。**
2. **便器洗浄ホース部を持ってウォシュレット本体を便器にセットしないでください。**
3. 電源は交流100V（50/60Hz），定格消費電力はEX1：1288W，EX2：1388Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力範囲は**0.05MPa（16.5L/min流動時）～0.75MPa**です。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の連結ホースを使わないでください。

部品の確認

梱　包

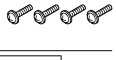


ウォシュレット本体

ウォシュレット本体取付部品

化粧キャップ（左用）
化粧キャップ（右用）

ボルト（平ワッシャ付）（4本）



リモコン部品

リモコン

リモコンハンガー

乾電池（単3形×2個）

ねじ（3本）

アンカープラグ（3本）

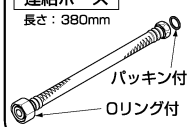
開閉工具

化粧カバー

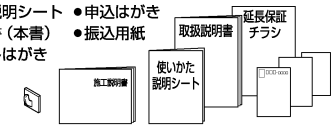
化粧カバー　ねじ付

連結ホース

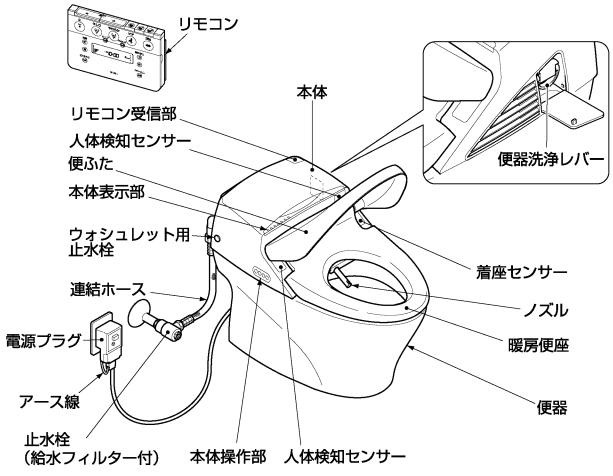
長さ：380mm



- 取扱説明書
- 使いかた説明シート
- 施工説明書（本書）
- アンケートはがき
- フック
- 延長保証チラシ
- 申込はがき
- 振込用紙



各部の名称



取付方法

1 ウォシュレット本体の取り付け（ヒータ付便器の場合:凍結防止ヒータの配線接続が必要です）

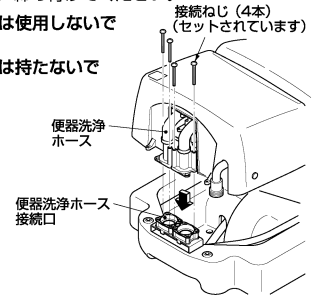
❶ 便器洗浄ホース接続口の溝に平パッキンが組み込まれていることを確認する
※ゴミを吹き払ってください。

ヒータ付便器の場合　は凍結防止ヒータの配線接続を行ってください。

❷ 便器にウォシュレット本体を置く

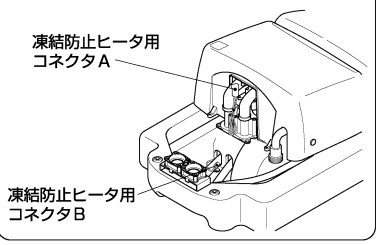
❸ 便器洗浄ホースを接続口に合わせ、接続ねじ（4本）はドライバーを使用し、手で締める
- ●接続口と接続ねじの位置を確実に合わせてください。
- ●接続ねじを均等に締め付けてください。

※電動ドライバーは使用しないでください。
※便器洗浄ホースは持たないでください。



凍結防止ヒータの配線方法

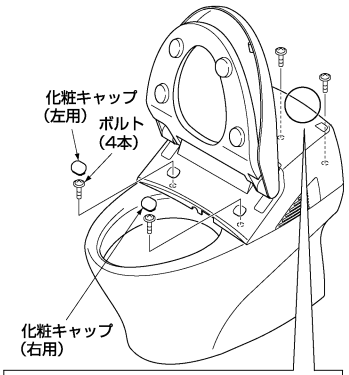
図のように便器にウォシュレット本体を仮置きする
①凍結防止ヒータ用コネクタA・Bを接続する
②凍結防止ヒータの配線を便器内に押し込む



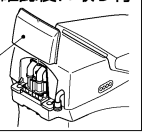
❹ 仮締め
ウォシュレット本体と便器取付穴の位置（4ヵ所）を合わせ、ボルト（4本）で仮締めする

❺ 本締め
ウォシュレット本体と便器の中心を合わせ、ボルト（4本）で確実に固定する

❻ 化粧キャップ（2個：裏面に左右表示あり）を取り付ける



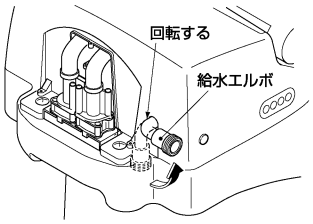
※化粧カバーは水漏れ確認後に取り付けてください。



2 連結ホースの接続

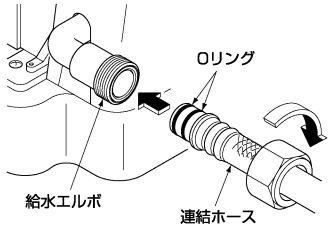
❶ 給水エルボを水平まで回す
（接続しやすくするためです。）

⚠ 注意
給水エルボの根元に無理な力を加えない
●水漏れの原因になります。

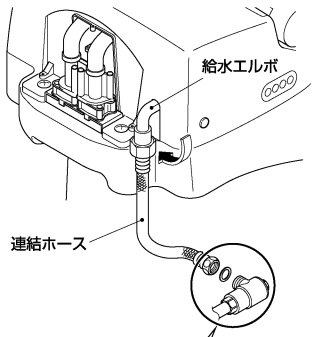


❷ 連結ホースを水平にして給水エルボに差し込み接続する

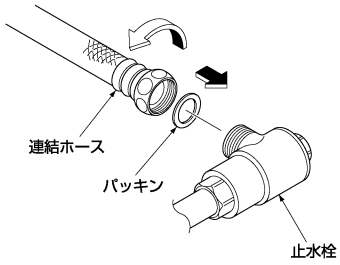
⚠ 注意
連結ホースのOリングにキズを付けない
●水漏れの原因になります。



❸ 給水エルボを真下に向ける



❹ 連結ホースを止水栓に接続する
※連結ホースが折れた状態で接続しないでください。

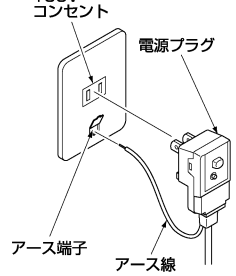


※連結ホースの長さが足りないときは…
下表の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。
（同梱の連結ホースの長さは380mmです。）
お求めはTOTOパーツセンター
☎0120-8282-55へお電話ください。

連結ホース長さ違い一覧表	
連結ホース長さ（mm）	品　番
600	D24016−1Z
800	D24016−2Z
1000	D24016−3Z

3 アース線の接続

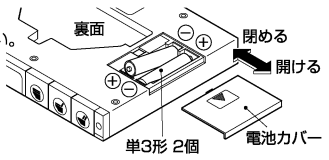
●アース線をアース端子に接続する
※アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。



4 リモコンの取り付け

❶ リモコンに乾電池を入れる

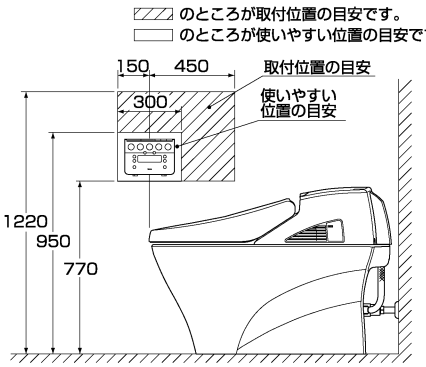
※⊕⊖を間違えないでください。



❷ リモコンの取付位置を決める

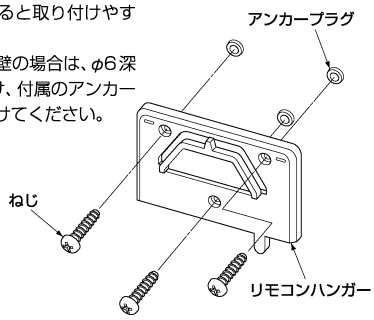
注 意

- リモコンを取り付けるときは、必ず取付予定位置で操作を行い、おし り洗浄などがはたらくことを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。



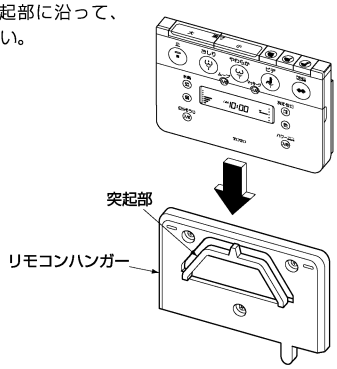
❸ リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



❹ リモコンをリモコンハンガーにセットする

- リモコンハンガーの突起部に沿って、上から差し込んでください。

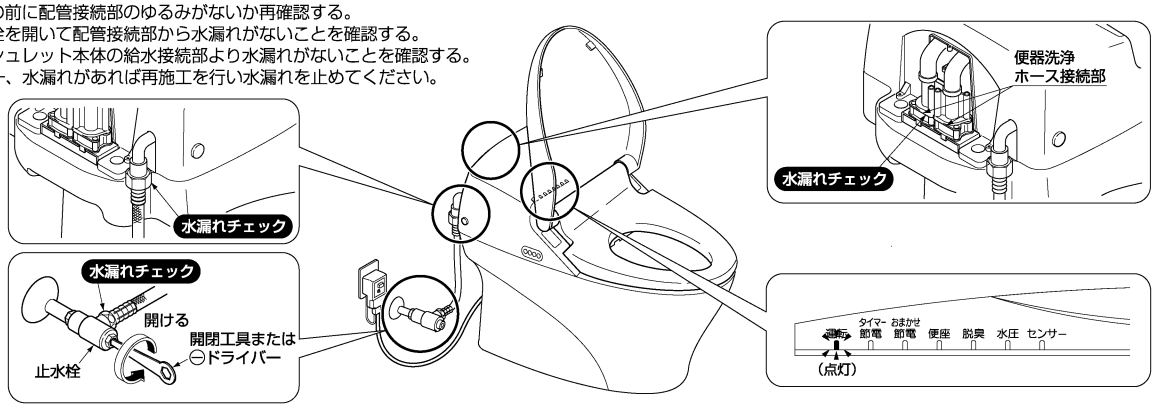


試 運 転

- 取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。
- 試運転が完了したら「運転入／切」スイッチが必ず「入」になっていることを確認してください。
（「入」のときは、本体表示部の「運転」ランプが点灯します。）

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する。
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。
※万一、水漏れがあれば再施工を行い水漏れを止めてください。



2 電源プラグの確認

❶ 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む

CHECK!
ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

ヒータ付便器の場合（凍結のおそれがある場合のみ）

便器ヒータ用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒータ用電源プラグに差し込んでください。

❷ 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して正常に作動することを確認する

CHECK!
「切（テスト）」ボタンを押す ➡「切表示」ランプが点灯する
「入（リセット）」ボタンを押す ➡「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。

「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

試　運　転

3 機能の確認

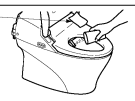
❶ 着座センサーを白紙でおおう
着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知します。
検知するとノズル付近から数秒間水が出ます。

❷ 脱臭機能を確認する
本体表示部の「脱臭」ランプが点灯していますか？

❸ パワー脱臭機能を確認する
- 「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと通常の音に戻りますか？

❹ 洗浄機能を確認する
- 「おしり・やわらか・ビデ」スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- 「強・弱」スイッチを押すと水勢が変化しますか？
- 「止」を押すと止まりますか？

●吐水は紙コップなどで受けてください。



❺ 乾燥機能を確認する
- 「乾燥」スイッチを押すと温風がノズルの左側から出ますか？
- 「止」スイッチを押すと止まりますか？

❻ 室内暖房機能を確認する（EX2のみ）
- 「室暖入/切」スイッチを押すと本体の右側から温風が出ますか？
- 再度「室暖入/切」スイッチを押すと約10秒後に温風が止まりますか？
- 室温が20～33℃のときは20秒間だけ温風が出ます。
  それ以上の室温のときは温風は出ません。

❼ 暖房便座機能を確認する
- 便座があたたまるまで約15分かかります。

❽ 着座センサーの白紙をはずす

❾ オートパワー脱臭機能を確認する
- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約1分後に自動的に止まりますか？

❿ オート洗浄機能を確認する。
便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動的に便器洗浄しますか？
※便器の水の流れが悪い場合は、給水圧が低い可能性があります。本体表示部の「水圧」ランプが点滅していませんか？点滅していれば給水圧が仕様値（0.05MPa）以下だと考えられます。便器部の施工説明書に従って給水圧を調べてください。
※オート洗浄の確認の際に、便器洗浄ホース部から水漏れがないことを確認してください。

⓫ リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する
を押すと便座・便ふたが開閉しますか？

⓬ リモコン便器洗浄機能を確認する
※オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは40秒以上間隔をあけてください。
「リモコン便器洗浄」スイッチを押すと便器の水が流れますか？

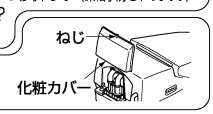
⓭ オート開閉機能を確認する
- 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。
  便器から離れて約10秒経過した後、便器の前に立つと便ふたが自動的に開きますか？
- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座、便ふたが自動的に閉まりますか？

⓮ 流動による凍結予防の確認をする
次の操作により一定の間隔で水を流して凍結を予防します。
①本体操作部の「おしり入/切」スイッチを10秒押す。（凍結予防をはじめます。）
- 「運転」ランプが点滅しますか？
- 5分後にノズルの根元から水が出ますか？
- さらに5分後に便器洗浄しますか？

②確認が終わったら再度「おしり入/切」スイッチを10秒押す。（凍結予防をやめます。）
- 「運転」ランプの点滅が点灯に変わりますか？

※必ず運転ランプを点灯の状態にしてください。

⓯ 試運転が完了したら化粧カバーを固定する

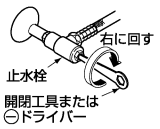


給水フィルターの掃除

●給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。
試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

❶ 止水栓を閉めて給水を止める
- 止水栓を付属の開閉工具で閉めてください。

⚠ 注意
禁止 **止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない**
●水が噴き出します。



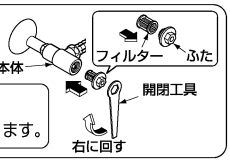
❷ 給水フィルターをはずす
- 開閉工具でフィルターのふたをはずします。
- フィルターがいっしょにはずれます。

❸ 掃除をする
- フィルターを取りはずし、網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。

※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
※止水栓本体の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

❹ 給水フィルターを取り付ける
- 元のように組み込み、開閉工具でフィルターのふたを締めてください。

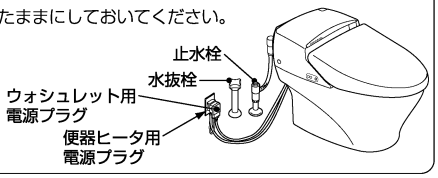
⚠ 注意
必ず守る **給水フィルターは確実に締める**
●確実に締めないと水漏れの原因になります。



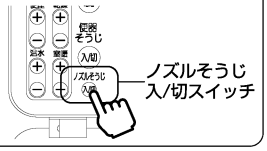
❺ 止水栓を開ける
- 止水栓を開閉工具で開けてください。
- 止水栓及び配管接続部から水漏れしていないか確認してください。

凍結のおそれがあるときの処置（ヒータ付便器・水抜併用方式の場合）

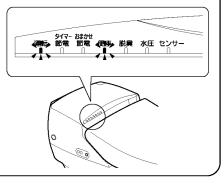
❶ 水抜栓を操作して、給水を止める
※止水栓は開けたままにしておいてください。



❷ ノズル内の水を抜く
①リモコンの（ノズルそうじ 入/切）を押す
②水抜きが終わったら、もう一度（ノズルそうじ 入/切）を押す
（ノズルを元に戻します。）



❸ ウォシュレット内を保温する
①本体操作部の（運転 入/切）が「入」であることを確認し、
リモコンの便座温度の設定を40℃にする
②便ふたを閉める



❹ 便器ヒータ用の電源プラグが差し込まれていることを確認する

工事店様へ
- 開閉工具は施工後必ずお客様にお渡しください。
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。（ただし、凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。）